

◇数値目標一覧 ※ベースラインはR6実績値

目 標	指 標	現 状 値 (R5に把握できる最新値)	2033 (R15) 目 標 値	デ ー タ ソ ース	担 当 課	
1 平均寿命・健康寿命の延伸						
健康寿命の延伸 重点目標	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	■健康寿命 男性:78.6 女性:83.7 ■平均寿命 男性:79.3 女性:86.9 (R4)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	健康寿命:国民生活基礎調査 平均寿命:簡易生命表	国保健康政策課	
2 個人の行動と健康状態の改善						
2-1 生活習慣の改善						
〈1〉 食べる (栄養・食生活) 重点目標	①適正体重を維持している者の増加	メタボリックシンドローム該当者の割合の減少	21%(R4)	18.0%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をもってR15目標値は設定	KDBシステム	国保健康政策課
		メタボリックシンドローム予備群の割合の減少	12.9%(R4)	11.2%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をもってR15目標値は設定	KDBシステム	国保健康政策課
		低栄養傾向の高齢者(75歳以上)の割合の減少	20.9%(R4)	16%	後期高齢者健診データ・KDBシステム	長寿介護課 国保健康政策課
		肥満傾向にある小学5年生児童生徒の割合	4.56%(R2) ※R3.R4は新型コロナの影響で標本数が少ないため、信頼性がないためR2を現状値とした。	4.3%	学校における身体計測データ	学校教育課
	②朝食を食べない者の減少	朝食を抜くことが週に3回以上ある者の減少	8.4%(R4)	8.4%以下	特定健康診査質問票・KDBシステム	国保健康政策課
		朝食を毎日食べる小・中学生の割合	小学6年生:94.8%(R4) 中学3年生:92.1%(R4)	100%(R7) ※食育推進計画第4次と整合性をもって(R15)目標値については設定	全国学力学習状況調査	学校教育課
		朝食を食べる親の割合(3歳児の親)	81.9%(R4)	95%(R7) ※食育推進計画第4次と整合性をもってR15目標値は設定	3歳児健診アンケート	国保健康政策課
	③バランスの良い食事をとっている者の増加	バランスよく朝食を食べる幼児の割合(3歳児健診)	45.6%(R4)	65%(R7) ※食育推進計画第4次と整合性をもってR15目標値は設定	3歳児健診アンケート	国保健康政策課
		1日2回以上「主食・主菜・副菜」をそろえて食べる日がほぼ毎日の市民の割合	49.7%(R5)	55%	食育に関するアンケート	国保健康政策課
	④食塩摂取量の減少	家庭の味付けを薄味にしようと思う親の割合(3歳児の親)	新規事業であるため指標なし	90%	3歳児健診アンケート	国保健康政策課
⑤野菜摂取量の増加	野菜を1日2回以上食べている市民の割合	60.0%(R4)	60%(R7) ※食育推進計画第4次と整合性をもってR15目標値は設定	食育に関するアンケート	国保健康政策課	
⑥間食(菓子類)を取りすぎている者の減少	間食(菓子類)や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合	18.7%(R4)	18.0%以下	特定健康診査質問票・KDBシステム	国保健康政策課	
〈2〉 動く (身体活動・運動)	⑦健康アプリ登録者数の増加	アプリ登録者数「ぎばっと!」	2,193人(R4)	3,000人	健康アプリ登録者数	スポーツ振興課
	⑧運動習慣なしの者の減少	1回30分以上の運動習慣なし	60.7%(R4)	50%	特定健康診査質問票・KDBシステム	国保健康政策課
	⑨こどもの運動やスポーツの総時間数の増加	1週間の総運動時間 i 小学5年生男子 ii 小学5年生女子 iii 中学2年生男子 iv 中学2年生女子	i 543.9分 ii 359.3分 iii 818.9分 iv 636.4分 (R4)	i 560分 ii 360分 iii 820分 iv 637分	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	学校教育課
	⑩運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少	スポーツ少年団の団員数	554人(R4)	500人※少子化により現状維持	スポーツ少年団の団員数	スポーツ振興課
〈3〉 休む (休養・睡眠)	⑪睡眠で休養が取れている者の増加	睡眠で休養が十分とれている者も割合	75.8%(R4)	80%	特定健診質問票・KDBシステム	国保健康政策課
〈4〉 やめる・控える (飲酒)	⑫生活習慣病(NSDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少	お酒を毎日飲む者の割合	22.5%(R4)	15.6%	特定健診問診票・KDBシステム	国保健康政策課
		飲酒1日当たり1合以上の者の割合	40%(R4)	28.0%	特定健診問診票・KDBシステム	
〈5〉 やめる (たばこ)	⑬喫煙率の減少	たばこを習慣的に吸っている者の割合	11.7%(R4)	8%	特定健診問診票・KDBシステム	国保健康政策課
	⑭妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙者割合	3%(R4)	0%	妊娠後期の喫煙率	こども未来課
〈6〉 磨く・噛む・受ける(歯)	⑮歯・口腔に関する健康格差の縮小・ 歯科疾患の予防	3歳児で4本以上のむし歯のある歯を有する者の割合	6%(R4)	3.0%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価次期に見直し、R15に向けて再設定	3歳児健診における歯科健診データ	こども未来課
		3歳児でむし歯のない者の割合	81%(R4)	91%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価次期に見直し、R15に向けて再設定		
		12歳児でむし歯のない者の割合	74.5%(R4)	79.6%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価次期に見直し、R15に向けて再設定	学校保健統計	学校教育課
		12歳の一人平均むし歯の本数	0.37本(R4)	0.36本(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定		
	⑯歯科疾患の予防	歯周疾患検診の受診率の向上	4.9%(R4)	5.91%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	歯周疾患検診結果	国保健康政策課
		40歳以上における歯周炎を有する者の割合	57%(R4)	54.7%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	長崎大学歯周病調査	
40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合		30.7%(R4)	25.7%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定			

目 標		指 標	現状値 (R5に把握できる最新値)	2033(R15)目標値	データソース	担当課
<6> 磨く・噛む・受ける(歯) <small>※歯科保健計画としての位置づけ</small>	⑯歯科疾患の予防	妊婦歯科健診の受診率向上(市独自)	27.3%(R4)	37.0%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	妊婦歯科健診受診実績	こども未来課
	⑰生活の質の向上に向けた口腔機能の獲得	特定健診受診者の咀嚼良好者の割合	71.5%(R4)	75.5%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	特定健診質問票KDBシステム	国保健康政策課
	⑱歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	3歳までにフッ化物紙面塗布を受けたことがある者の割合	95%(R4)	100%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	3歳児歯科健診	こども未来課
保育所・幼稚園・認定こども園でのフッ化物洗口実施施設の割合		100%(R4)	100%(R10) ※県歯なまるプラン第3次評価時期に見直し、R15に向けて再設定	小学校・中学校でのフッ化物洗口実施実績	学校教育課	
2-2 生活習慣病の発症予防・重症化予防						
<1> 健診の受診促進 重点目標	⑲特定健康診査の実施率の向上	特定健診の受診率	35.6%(R4)	55.5%(R11) ※第4期データヘルス計画と整合性を持ってR15目標値は再設定	特定健診受診率(法定報告)	
	⑳特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導実施率(法定報告値)	55.1%(R4)	60.0%(R11) ※第4期データヘルス計画と整合性を持ってR15目標値は再設定	特定保健指導実施率(法定報告)	
<2> がん 重点目標	㉑がん年間死亡者数の減少	がん死亡者数	171人(R4)	100人	KDBシステム	
	㉒がん検診の受診率の向上	がん検診受診者数	胃がん検診 : 3.1% 肺がん検診 : 13.4% 大腸がん検診 : 15.0% 乳がん検診 : 13.4% 子宮頸がん検診 : 20.8% (R4)	胃がん検診 : 13.0% 肺がん検診 : 23.0% 大腸がん検診 : 25.0% 乳がん検診 : 23.0% 子宮頸がん検診 : 31.0%	がん検診受診率	
	㉓がん検診要精密検査受診率の増加(市独自)	がん検診要精密検査受診率	胃がん検診 : 3.1% 肺がん検診 : 13.4% 大腸がん検診 : 15.0% 乳がん検診 : 13.4% 子宮頸がん検診 : 20.8% (R4)	全てのがん検診受診率90%以上	地域保健事業報告	
<3> 循環器病(脳血管疾患と心臓病)と糖尿病 重点目標	㉔脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率減少	脳血管疾患の割合の減少	4.3%(R4)	4.7%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定	KDBシステム	国保健康政策課
	㉕高血圧の改善	①②のいずれかを満たす者の割合 ①収縮期血圧 ≥ 160 mmHg ②拡張期血圧 ≥ 100 mmHg	7.8%(R4)	6.6%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定	KDBシステム	
	㉖脂質(LDLコレステロール)高値の者の減少	LDLコレステロール160以上の者の割合	9.2%(R4)	7.9%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定	KDBシステム	
	㉗メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	i メタボリックシンドローム該当者の人数(法定報告値) ii メタボリックシンドローム予備群の人数(法定報告値)	i 21.3% ii 12.9% (R4)	i 20.3% ii 11.2%(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定	特定健康診査・特定保健指導の実施状況	
	㉘新規透析患者数の減少	年間新規透析患者数	16人(R4)	10人(R11) ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定。	厚生医療申請状況データ	
	㉙血糖コントロール不良者の減少	i HbA1c6.5以上の者の割合 ii HbA1c8.0以上の者の割合	i 8.4% ii 1.0%	i 7.2% ii 0.8% ※データヘルス計画第4期との整合性をとって(R15)の目標については設定。	KDBシステム	
	㉚糖尿病有病者の増加の抑制	HbA1c6.5以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	13.6%(R4)	11.20%	KDBシステム	
	特定健康診査の実施率の向上(再掲)	特定健診の受診率	35.6%(R4)	55.5%(R11) ※第4期データヘルス計画と整合性を持ってR15目標値は再設定	特定健診受診率(法定報告)	
特定保健指導の実施率の向上(再掲)	特定保健指導実施率	55.1%(R4)	60.0%(R11) ※第4期データヘルス計画と整合性を持ってR15目標値は再設定	特定保健指導実施率(法定報告)		
2-3 生活機能の質の維持・向上						
⑳ロコモティブシンドロームの減少	1年間に転んだことがある者の割合	22.1%(R4)	18%	後期高齢者健診質問票	長寿介護課 国保健康政策課	
	以前に比べて歩く速度が遅くなった者の割合	62.7%(R4)	58%	後期高齢者健診質問票		
㉑骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率	R6新規事業のため値なし	15%	骨粗鬆症検診受診実績	国保健康政策課	
2-4 社会のつながり・こころの健康						
㉓心理的苦痛を感じている者の減少	K6(こころの状態評価指標)の合計得点が10点以上(ハイリスク)の者の割合	■男性 20歳以上: 2.2% 60歳以上: 1.3% ■女性 20歳以上: 3.6% 60歳以上: 4.0% (R4-R5)	現状値より、0.5%減少	長崎大学動脈硬化検診データ	国保健康政策課	
	自殺者数	7人(H28)	4人以下(R9) ※自殺対策計画第3期との整合性をもってR15目標値は設定。	地域自殺実態プロフィール		
㉔地域等で共食している者の割合	食材無償提供活動の開催回数	奥浦地区 実施回数: 3か月に1回 人数: 1回あたり70人 内容: 食事の提供と前後の時間に学びの時間の提供	拡大	食材無償提供活動の開催回数	こども未来課	
㉕こころのサポーター数の増加	認知症サポーターの養成講座受講者数	4,180人(R4)	4,580人	認知症サポーター養成講座受講者数	長寿介護課	
	認知症に関する相談窓口を知っている者の割合	24.8%(R4)	44.0%	介護保険事業計画ニーズ調査		
	ゲートキーパーの養成数	26人(R3)	350人	ゲートキーパー養成数		国保健康政策課